事 務 連 絡 令和7年8月25日

各 検疫所 御中

健康·生活衛生局食品監視安全課

既存添加物名簿の一部を改正する告示及び 食品、添加物等の規格基準の一部を改正する告示について

今般、標記について、消費者庁次長から、別添のとおり各都道府県知事等宛 てに通知されましたので送付いたします。

関係者への周知をお願いするとともに、その運用に遺漏がないようお取り計らいをお願いします。

消 食 基 第 458 号 令 和 7 年 8 月 25 日

厚生労働省健康・生活衛生局 食品監視安全課長 殿

消費者庁食品衛生基準審査課長 (公印省略)

既存添加物名簿の一部を改正する告示及び 食品、添加物等の規格基準の一部を改正する告示について

既存添加物名簿の一部を改正する告示(令和7年消費者庁告示第9号)及び食品、添加物等の規格基準の一部を改正する告示(令和7年内閣府告示第113号)が本日告示され、これにより既存添加物名簿(平成8年厚生省告示第120号)及び食品、添加物等の規格基準(昭和34年厚生省告示第370号)の一部が改正されました。改正の概要等について別添のとおり各都道府県知事等宛てに通知しましたので、関係者への周知等をよろしくお願いします。

消 食 基 第 460 号 令和 7 年 8 月 25 日

消費者庁次長(公印省略)

既存添加物名簿の一部を改正する告示及び 食品、添加物等の規格基準の一部を改正する告示について

既存添加物名簿の一部を改正する告示(令和7年消費者庁告示第9号)及び食品、添加物等の規格基準の一部を改正する告示(令和7年内閣府告示第113号)が本日告示され、これにより既存添加物名簿(平成8年厚生省告示第120号)及び食品、添加物等の規格基準(昭和34年厚生省告示第370号。以下「規格基準告示」という。)の一部が改正されました。改正の概要等については、下記のとおりですので、関係者への周知をお願いするとともに、その運用に遺漏がないようお取り計らいをお願いします。

記

第1 改正の概要

1 既存添加物名簿関係

消除予定添加物名簿(令和6年消費者庁告示第11号)に記載されている添加物のうち、別紙に掲げる添加物の名称を既存添加物名簿から消除したこと。なお、「レイシ抽出物」については、基原の一部を削除したことから、既存添加物名簿に記載されている名称を変更したこと。

2 規格基準告示関係

上記1の改正に伴い、規格基準告示のうち、第2 添加物の部について、以下のとおり改正するもの。

- (1) 「ゴム」の成分規格から「低分子ゴム」に関する記載を削除
- (2) 「レイシ抽出物 (子実体)」の成分規格から子実体以外の基原に関する記載を削除
- (3) 「シソ抽出物」及び「ひる石」の製造基準の記載を削除
- (4) 「グアヤク脂」及び「ひる石」の使用基準の記載を削除

第2 施行期日

告示日から施行すること。

第3 運用上の注意

既存添加物名簿から消除された添加物並びにこれを含む製剤及び食品については、食品衛生法(昭和22年法律第233号)第12条の規定に基づき、その販売、又は販売の用に供するための製造、輸入、加工若しくは使用等が禁止されるものであること。

令和7年8月25日付で既存添加物名簿(平成8年厚生省告示第120号)から消除される品目

92 グアヤク報幣 (ニソウボクの分談療から得られた、αーグアヤコン酸及び3ーグアヤコン酸を主成分とするものもいう。) 97 グァクへカン (グッタハンカンの分泌液から得られた、エアリンアセクート及びポリイソプレンを主成分とするものもいう。) 98 グックペルカ (グッタハンカンの分泌液から得られた、ボリイソプレンを主成分とするものをいう。) 133 ゴペの溶液菌(ゴム (既存施)物名應着)14 号のゴムをいう。) から得られた、ジテルペン、トリテルペン及とトラテルペンを主成分とするものをいう。) 135 シグ無理物 (ジンの種子又は素の水化物の分泌液から持られた、ボリイソプレンを主成分とするものをいう。) 151 シグトリカ (アルベのクシ液があら得られた、アペリイドを主成分とするものをいう。) 152 ツイヤの深油土物 (ソバの変又は素の水化物から排出して得られたものをいう。) 153 ツルバ (ソルバの分泌液から得られた、アミリンアセクート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。) 154 サルブ (ソルビンハの分泌液から得られた、アミリンアセクート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。) 155 ナルデ (デルアの分泌液から得られた、アミリンアセクート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。) 156 サルブ (アルベの分泌液から得られた、アミリンアセクート及びポリインプレンを主成分とするものをいう。) 157 ナッカ (ソスーの分泌液から得られた、アミリンアセクート及びポリインプレンを主成分とするものをいう。) 158 ナルブ (アンスの分泌液から得られた、アミリンアセクート及びポリインプレンを主成分とするものをいう。) 159 ロをいう。) 200 アメー (ツメーの分泌液から得られた、アミリンアセクート及びポリインプレンを主成分とするものをいう。) 201 ティブ・タッタ (ニガーグッタの分泌液から得られた、アミリンアセクート及びポリインプレンを主成分とするものをいう。) 202 プロボリス抽出物 (ダイズの電子から得られた、フラボノイドを主成分とするものをいう。) 203 ボルコウ (ホホバの果実から得られた、イコセン酸イコセニルを主成分とするものをいう。) 204 マッサランドバ・ラク (マッサランドバ・ラクの分泌液から得られた、アミリンアセクート及びポリインプトを主放分とするものをいう。) 205 マッサランドバ・ラク (マッサランドバ・ラクの分泌液から得られた、アミリンアセクート及びボリイソプトを主放分とするものをいう。) 206 ロイン相出物 (マンネンタの音楽体者しくはその冷を液から組出して得られたの変いか。) 207 マグランド色素 (アクッドの分泌液から得られた、アミリンエステルを主成分とするものをいう。) 208 ロイン相出物 (マンネンタの音楽体者とはその冷を液から組出して寄られたのをいう。)	既存添加物 名簿番号	名称
92 グアヤク報幣 (ニソウボクの分談療から得られた、αーグアヤコン酸及び3ーグアヤコン酸を主成分とするものもいう。) 97 グァクへカン (グッタハンカンの分泌液から得られた、エアリンアセクート及びポリイソプレンを主成分とするものもいう。) 98 グックペルカ (グッタハンカンの分泌液から得られた、ボリイソプレンを主成分とするものをいう。) 133 ゴペの溶液菌(ゴム (既存施)物名應着)14 号のゴムをいう。) から得られた、ジテルペン、トリテルペン及とトラテルペンを主成分とするものをいう。) 135 シグ無理物 (ジンの種子又は素の水化物の分泌液から持られた、ボリイソプレンを主成分とするものをいう。) 151 シグトリカ (アルベのクシ液があら得られた、アペリイドを主成分とするものをいう。) 152 ツイヤの深油土物 (ソバの変又は素の水化物から排出して得られたものをいう。) 153 ツルバ (ソルバの分泌液から得られた、アミリンアセクート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。) 154 サルブ (ソルビンハの分泌液から得られた、アミリンアセクート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。) 155 ナルデ (デルアの分泌液から得られた、アミリンアセクート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。) 156 サルブ (アルベの分泌液から得られた、アミリンアセクート及びポリインプレンを主成分とするものをいう。) 157 ナッカ (ソスーの分泌液から得られた、アミリンアセクート及びポリインプレンを主成分とするものをいう。) 158 ナルブ (アンスの分泌液から得られた、アミリンアセクート及びポリインプレンを主成分とするものをいう。) 159 ロをいう。) 200 アメー (ツメーの分泌液から得られた、アミリンアセクート及びポリインプレンを主成分とするものをいう。) 201 ティブ・タッタ (ニガーグッタの分泌液から得られた、アミリンアセクート及びポリインプレンを主成分とするものをいう。) 202 プロボリス抽出物 (ダイズの電子から得られた、フラボノイドを主成分とするものをいう。) 203 ボルコウ (ホホバの果実から得られた、イコセン酸イコセニルを主成分とするものをいう。) 204 マッサランドバ・ラク (マッサランドバ・ラクの分泌液から得られた、アミリンアセクート及びポリインプトを主放分とするものをいう。) 205 マッサランドバ・ラク (マッサランドバ・ラクの分泌液から得られた、アミリンアセクート及びボリイソプトを主放分とするものをいう。) 206 ロイン相出物 (マンネンタの音楽体者しくはその冷を液から組出して得られたの変いか。) 207 マグランド色素 (アクッドの分泌液から得られた、アミリンエステルを主成分とするものをいう。) 208 ロイン相出物 (マンネンタの音楽体者とはその冷を液から組出して寄られたのをいう。)	41	オゾケライト
97	91	グアヤク脂(ユソウボクの幹枝から得られた、グアヤコン酸、グアヤレチック酸及び β —レジンを主成分とするものをいう。)
98 グッタベルカ(グッタベルカの分泌液から得られた、ボリイソプレンを主成分とするものをいう。) 133 ゴマ柄政組出物(ゴマの薬又は葉の灰化物から抽出して得られたものをいう。) 135 ゴス分解植物(ゴマの薬又は葉の灰化物から抽出して得られたものをいう。) 155 シソ抽出物(シソの種子又は葉から得られた、テルベノイドを主成分とするものをいう。) 157 セピオライト 179 ソバ豚政組出物(ソバの並えは薬の灰化物から静出して得られたものをいう。) 180 ソルバ(ソハバの分泌液から得られた、アスリンアセタート及びボリイソフレンを主成分とするものをいう。 181 ソルバ(ソハバの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びボリイソフレンを主成分とするものをいう。) 181 アルディ(アルデンの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びボリイソフレンを主成分とするものをいう。) 190 健壮末(健壮から得られた、コール酸及びデソキシコール酸を主成分とするものをいう。) 198 デルテ(アルテの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びボリイソフレンを主成分とするものをいう。) 200 ツスー(ツスーの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びボリイソフレンを主成分とするものをいう。) 201 デオゴコミン 202 サフサ ニガーグッタの分泌液を分解して得られた、ボリイソプレンを主成分とするものをいう。) 203 は分子ゴム(バラゴムの分泌液を分解して得られた、ボリイソプレンを主成分とするものをいう。) 204 デオーグッタ(ニガーグッタの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びボリイソプレンを主成分とするものをいう。) 210 ブロボリイングと表(ピーカンの果皮又は液皮から得られた、フラボノイドを主成分とするものをいう。) 226 ベルンナンツ色素(ピーカンの果皮又は液皮から得られた、フラボノイドを主成分とするものをいう。) 227 ベルンナングを素(ピーカンの果皮スは液皮がら得られた、アミリンアセタート及びボリイソブレンを主成分とするものをいう。) 300 ホホバリケ はホバの果薬から得られた、イコセン機イコセニルを主成分とするものをいう。) 301 マッサランドババテョのは一条の作業液から得られた、アミリンアセタート及びボリイソブレを主成分とするものをいう。) 302 マッサランドババラタ(マッサランドババラタの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びボリイソブロレを主成分とするものをいう。) 303 ログリンド色素(コグウンドの心材から得られた、ハマトキシリンを主成分とするものをいう。) 314 ログウンド色素(ログウンドの心材から得られた、ハマトキシリンを主成分とするものをいう。) 315 ログウンド色素(ログウンドの心材から得られた、ハマトキシリンを主成分とするものをいう。)	92	グアヤク樹脂(ユソウボクの分泌液から得られた、 α — グアヤコン酸及び β — グアヤコン酸を主成分とするも α をいう。)
133 ゴマ柄灰軸出物 (ゴマの変又は葉の灰化物から抽出して得られたものをいう。) 135 ゴム分解樹間 (ゴム (灰存添加物を簡第 134 号のゴムをいう。) から得られた、ジテルベン、トリテルベン及しトラアルベンを主成分とするものをいう。) 153 シソ抽出物 (シソの種子文は葉から得られた、テルベノイドを主成分とするものをいう。) 174 セピオライト 179 ソバ柄灰軸出物 (ソバの楽又は葉から得られた、デルベノイドを主成分とするものをいう。) 180 ソルバ (ソルバの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソブレンを主成分とするものをいう。) 181 ソルビンハ (ソルビンハの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソブレンを主成分とするものをいう。) 190 胆汁末 (胆汁から得られた、コール酸及びデソキシコール酸を主成分とするものをいう。) 198 テルデ (チルテの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソブレンを主成分とするものをいう。) 200 ツメー (ツヌーの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソブレンを主成分とするものをいう。 佐分子ゴム (パラゴムの分泌液から得られた、ボリイソブレンを主成分とするものをいう。) 204 テオブロミン 205 オフサ 206 カゴス (パラゴムの分泌液から得られた、ボリイソブレンを主成分とするものをいう。) 207 ロボリス抽出物 (メイズの種子から得られた、アミリンアセタート及びボリイソブレンを主成分とするものをいう。) 208 ボネズエラチクル (ベネズエラチクルの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソブレンを主成分とするものをいう。) 210 ボカバロウ (ホホバの果実から得られた、イコセン酸イコセニルを主成分とするものをいう。) 228 マッサランドバボロウ (ホホバの果実から得られた、イコセン酸イコセニルを主成分とするものをいう。) 300 ホホバロウ (ホホバの果実から得られた、イコセン酸イコセニルを主成分とするものをいう。) 301 マッサランドババフタ (マッサランドババフタの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びボリイソブレを主成分とするものをいう。) 302 マッサランドババフタのの資素体着しくはその冷養液から補出して得られたもの又は子実体の溶養液から相出して得られたものをいう。) 3150 レッチュデバカ (レッチュデバカの分泌液から得られた、アミリンエステルを主成分とするものをいう。) 3151 レッチュデバカ (レッチュデバカの分泌液から得られた、アミリンを主成分とするものをいう。) 3152 レッチュデバカ (レッチュデバカの分泌液から得られた、アミリンを主成分とするものをいう。)	97	グッタハンカン (グッタハンカンの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。)
ゴム分解樹脂(ゴム(既存添加物名酸第134 号のゴムをいう。) から得られた、ジテルベン、トリテルベン及びトラテルベンを主成分とするものをいう。) 153 シソ抽出物(シソの種子又は葉から得られた、テルベノイドを主成分とするものをいう。) 174 セピオライト 179 ソバ村阪抽出物(ソバの茎又は葉の灰化物から抽出して得られたものをいう。) 180 ソルバ(ソルバの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びボリイソブレンを主成分とするものをいう。 181 ソルバ(ソルビンハの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びボリイソブレンを主成分とするものをいう。) 191 胆汁末(胆汁から得られた、コール酸及びデソキシコール酸を主成分とするものをいう。) 192 胆汁末(胆汁から得られた、コール酸及びデソキシコール酸を主成分とするものをいう。) 193 チルテ(チルテの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びボリイソブレンを主成分とするものをいう。 204 ツメー(ツメーの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びボリイソブレンを主成分とするものをいう。 205 ガフサ 206 テオブロミン 207 アオブロミン 208 デオブロミン 209 エガーグッタ (ニガーグッタの分泌液から得られた、ボリイソプレンを主成分とするものをいう。) 209 エガーグッタ (ニガーグッタの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びボリイソブレンを主成分とするものをいう。) 200 プロボリス抽出物(ミツバチの巣から得られた、フラボノイドを主成分とするものをいう。) 201 ベネズエラチクル (ベネズエラチクルの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びボリイソブレンを主成分とするものをいう。) 202 マッサランドバチョコレート (マッサランドバチョコレートの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びボリイソブレを主成分とするものをいう。) 203 マッサランドババラタ(マッサランドバグラタの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びボリイソブレーを主成分とするものをいう。) 204 ログラッド色素(ログラッドの心材から得られた、アミリンを主成分とするものをいう。) 205 ログラッド色素(ログラッドの心材がら得られた、アミリンを主成分とするものをいう。) 206 ログラッド色素(ログラッドの心材がら得られた、アミリンを主成分とするものをいう。) 207 ログラッド色素(ログラッドの心材がら得られた、アミリンを主成分とするものをいう。)	98	グッタペルカ (グッタペルカの分泌液から得られた、ポリイソプレンを主成分とするものをいう。)
153	133	ゴマ柄灰抽出物 (ゴマの茎又は葉の灰化物から抽出して得られたものをいう。)
174 セピオライト 179 ソバ楠灰抽出物(ソバの茎又は葉の灰化物から抽出して得られたものをいう。) 180 ソルバ(ソルバの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソブレンを主成分とするものをいう。 181 ソルビンハ(ソルビンハの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソブレンを主成分とするものという。) 181 リカルドンハ(ソルビンハの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソブレンを主成分とするものという。) 190 胆汁末(胆汁から得られた、コール酸及びデソキシコール酸を主成分とするものをいう。) 198 チルテ(チルテの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソブレンを主成分とするものをいう。 200 ツヌー(ツヌーの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソブレンを主成分とするものをいう。) 201 ケオブロミン 202 テオブロミン 203 ばい恵ダイズ抽出物(ダイズの種子から得られた、アミリンアセタート及びポリイソブレンを主成分とするのをいう。) 204 テオフロミン 205 はい恵ダイズ抽出物(ダイズの種子から得られた、アミリンアセタート及びポリイソブレンを主成分とするのをいう。) 206 ペカンナッツ色素(ピーカンの果皮又は波皮から得られた、フラボノイドを主成分とするものをいう。) 207 ベネズエラチタル (ベネズエラチクルの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソブレンを主成分とするものをいう。) 300 ホホバロウ(ホホバの果実から得られた、イコセン酸イコセニルを主成分とするものをいう。) 301 マッサランドバチョコレート(マッサランドババラタの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソブレンを主成分とするものをいう。) 302 マッサランドババラタ (マッサランドババラタの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソブレクに主成分とするものをいう。) 303 レッチュデバカ(レッチュデバカの分泌液から得られた、アミリンエステルを主成分とするものをいう。) 350 ログウッド色素(ログウッドの心材から得られた、アミリンエステルを主成分とするものをいう。)	135	ゴム分解樹脂(ゴム(既存添加物名簿第134号のゴムをいう。)から得られた、ジテルペン、トリテルペン及びラトラテルペンを主成分とするものをいう。)
179 ソバ極灰抽出物(ソバの茎又は葉の灰化物から抽出して得られたものをいう。) 180 ソルバ(ソルバの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。) 181 ソルビンハ(ソルビンハの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。) 190 胆汁末(胆汁から得られた、コール酸及びデソキシコール酸を主成分とするものをいう。) 198 チルテ(チルテの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。) 200 ツヌー(ツヌーの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。 201 低分子ゴム(パラゴムの分泌液を分解して得られた、ポリイソプレンを主成分とするものをいう。) 202 ナフサ 230 ニガーグッタ(ニガーグッタの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。) 231 ばい面ダイズ抽出物(ダイズの種子から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするのをいう。) 251 ひる石 270 プロポリス抽出物(ミツパチの巣から得られた、フラボノイドを主成分とするものをいう。) 276 ベカンナッツ色素(ビーカンの果皮又は液皮から得られた、フラボノイドを主成分とするものをいう。) 288 ベネズエラチクル (ベネズエラチクルの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソブレンを主成分とするものをいう。) 300 ホホバロウ(ホホバの果実から得られた、イコセン酸イコセニルを主成分とするものをいう。) 301 マッサランドババラョント・バイラタの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソブレを主成分とするものをいう。) 302 マッサランドババラタ(マッサランドババラタの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソブレを主成分とするものをいう。) 310 レッチュデバカ(レッチュデバカの分泌液から得られた、アミリンエステルを主成分とするものをいう。) 311 レッチュデバカ(レッチュデバカの分泌液から得られた、アミリンエステルを主成分とするものをいう。) 312 ログウッド色素(ログウッドの心材から得られた、アミリンアセタート及びポリイソブレを主成分とするものをいう。)	153	シソ抽出物 (シソの種子又は葉から得られた、テルペノイドを主成分とするものをいう。)
180	174	セピオライト
181	179	ソバ柄灰抽出物 (ソバの茎又は葉の灰化物から抽出して得られたものをいう。)
## いう。) ## いう。) ## いう。) ## いう。) ## いう。) ## いう。) ## がら得られた、コール酸及びデソキシコール酸を主成分とするものをいう。) ## デルテ (チルテの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。) ## アルテ (チルテの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。) ## アオプロミン ## アオプロミン ## アルーグッタ (ニガーグッタの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。) ## アルーグッタ (ニガーグッタの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。) ## アルーグッタ (ニガーグッタの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするのをいう。) ## アルーグッタ (ニガーグッタの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするのをいう。) ## アルーグッタ (ニガーグッタの分泌液から得られた、アニリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。) ## アルーグックの果皮又は淡皮から得られた、アニリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。) ## アルーグ・ボボバの果実から得られた、イコセン酸イコセニルを主成分とするものをいう。) ## アルード (マッサランドバチョコレートの分泌液から得られた、アニリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。) ## アルーグ・ボババラタ (マッサランドババラタの分泌液から得られた、アニリンアセタート及びポリイソプレを主成分とするものをいう。) ## アルーグ・ボババラタ (マッサランドババラタの分泌液から得られた、アニリンアセタート及びポリイソプレを主成分とするものをいう。) ## アルーグ・ボルーグ・ボルーグ・ボルーグ・ボルーグ・ボルーグ・ボルーグ・ボルーグ・ボ	180	ソルバ (ソルバの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。)
198	181	ソルビンハ (ソルビンハの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。)
200 ツヌー (ツヌーの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。) 203 低分子ゴム (パラゴムの分泌液を分解して得られた、ポリイソプレンを主成分とするものをいう。) 204 テオプロミン 226 ナフサ 230 ニガーグッタ (ニガーグッタの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするのをいう。) 235 ばい煎ダイズ抽出物 (ダイズの種子から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするのをいう。) 251 ひる石 270 プロポリス抽出物 (ミツバチの巣から得られた、フラボノイドを主成分とするものをいう。) 276 ベカンナッツ色素 (ビーカンの果皮又は渋皮から得られた、フラボノイドを主成分とするものをいう。) 288 ベネズエラチクル (ベネズエラチクルの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成とするものをいう。) 300 ホホバロウ (ホホバの果実から得られた、イコセン酸イコセニルを主成分とするものをいう。) 301 マッサランドバチョコレート (マッサランドバチョコレートの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。) 302 マッサランドババラタ (マッサランドババラタの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレを主成分とするものをいう。) 350 レイシ抽出物 (マンネンタケの菌糸体若しくはその培養液から抽出して得られたもの又は子実体の培養液から出して得られたものをいう。) 351 レッチュデバカ (レッチュデバカの分泌液から得られた、アミリンエステルを主成分とするものをいう。) 352 ログウッド色素 (ログウッドの心材から得られた、ヘマトキシリンを主成分とするものをいう。)	190	胆汁末(胆汁から得られた、コール酸及びデソキシコール酸を主成分とするものをいう。)
 203 低分子ゴム (パラゴムの分泌液を分解して得られた、ポリイソプレンを主成分とするものをいう。) 204 テオプロミン 226 ナフサ 230 ニガーグッタ (ニガーグッタの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びボリイソプレンを主成分とするのをいう。) 235 ばい煎ダイズ抽出物 (ダイズの種子から得られた、マルトールを主成分とするものをいう。) 251 ひる石 270 プロポリス抽出物 (ミツパチの巣から得られた、フラボノイドを主成分とするものをいう。) 276 ベカンナッツ色素 (ビーカンの果皮又は渋皮から得られた、フラボノイドを主成分とするものをいう。) 288 ベネズエラチクル (ベネズエラチクルの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成とするものをいう。) 300 ホホバロウ (ホホバの果実から得られた、イコセン酸イコセニルを主成分とするものをいう。) 306 マッサランドバチョコレート (マッサランドバチョコレートの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。) 307 マッサランドババラタ (マッサランドババラタの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレを主成分とするものをいう。) 350[※] レイシ抽出物 (マンネンタケの菌糸体若しくはその培養液から抽出して得られたもの又は子実体の培養液から抽して得られたものという。) 351 レッチュデバカ (レッチュデバカの分泌液から得られた、アミリンエステルを主成分とするものをいう。) 354 ログウッド色素 (ログウッドの心材から得られた、ヘマトキシリンを主成分とするものをいう。) 355 ログディンハ (ロシディンハの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とする 	198	チルテ (チルテの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。)
204 テオプロミン 226 ナフサ 230 ニガーグッタ (ニガーグッタの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするのをいう。) 235 ばい煎ダイズ抽出物 (ダイズの種子から得られた、マルトールを主成分とするものをいう。) 251 ひる石 270 プロポリス抽出物 (ミツバチの巣から得られた、フラボノイドを主成分とするものをいう。) 276 ペカンナッツ色素 (ピーカンの果皮又は渋皮から得られた、フラボノイドを主成分とするものをいう。) 288 ベネズエラチクル (ベネズエラチクルの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成とするものをいう。) 300 ホボバロウ (ホホバの果実から得られた、イコセン酸イコセニルを主成分とするものをいう。) 306 マッサランドバチョコレート (マッサランドバチョコレートの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。) 307 マッサランドババラタ (マッサランドババラタの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレを主成分とするものをいう。) 350 レイシ抽出物 (マンネンタケの菌糸体若しくはその培養液から抽出して得られたもの又は子実体の培養液から抽出して得られたものをいう。) 351 レッチュデバカ (レッチュデバカの分泌液から得られた、アミリンエステルを主成分とするものをいう。) 352 ログウッド色素 (ログウッドの心材から得られた、ヘマトキシリンを主成分とするものをいう。)	200	ツヌー (ツヌーの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。)
226 ナフサ 230 ニガーグッタ (ニガーグッタの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするのをいう。) 235 ばい煎ダイズ抽出物 (ダイズの種子から得られた、マルトールを主成分とするものをいう。) 251 ひる石 270 プロポリス抽出物 (ミツバチの巣から得られた、フラボノイドを主成分とするものをいう。) 276 ペカンナッツ色素 (ピーカンの果皮又は渋皮から得られた、フラボノイドを主成分とするものをいう。) 288 ベネズエラチクル (ベネズエラチクルの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成とするものをいう。) 300 ホホバロウ (ホホバの果実から得られた、イコセン酸イコセニルを主成分とするものをいう。) 306 マッサランドバチョコレート (マッサランドバチョコレートの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレを主成分とするものをいう。) 307 マッサランドババラタ (マッサランドババラタの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレを主成分とするものをいう。) 350* レイシ抽出物 (マンネンタケの菌糸体若しくはその培養液から抽出して得られたもの又は子実体の培養液から出して得られたものをいう。) 351 レッチュデバカ (レッチュデバカの分泌液から得られた、アミリンエステルを主成分とするものをいう。) 355 ログウッド色素 (ログウッドの心材から得られた、ヘマトキシリンを主成分とするものをいう。) 355 ロジディンハ (ロシディンハの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とする	203	低分子ゴム (パラゴムの分泌液を分解して得られた、ポリイソプレンを主成分とするものをいう。)
230	204	テオブロミン
235	226	ナフサ
 251 ひる石 270 プロポリス抽出物 (ミツバチの巣から得られた、フラボノイドを主成分とするものをいう。) 276 ペカンナッツ色素 (ピーカンの果皮又は渋皮から得られた、フラボノイドを主成分とするものをいう。) 288 ベネズエラチクル (ベネズエラチクルの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成とするものをいう。) 300 ホホバロウ (ホホバの果実から得られた、イコセン酸イコセニルを主成分とするものをいう。) 306 マッサランドバチョコレート (マッサランドバチョコレートの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。) 307 マッサランドババラタ (マッサランドババラタの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレを主成分とするものをいう。) 350* レイシ抽出物 (マンネンタケの菌糸体若しくはその培養液から抽出して得られたもの又は子実体の培養液から出して得られたものをいう。) 351 レッチュデバカ (レッチュデバカの分泌液から得られた、アミリンエステルを主成分とするものをいう。) 354 ログウッド色素 (ログウッドの心材から得られた、ヘマトキシリンを主成分とするものをいう。) 355 ロシディンハ (ロシディンハの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とする。) 	230	ニガーグッタ (ニガーグッタの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。)
270 プロポリス抽出物 (ミツバチの巣から得られた、フラボノイドを主成分とするものをいう。) 276 ペカンナッツ色素 (ピーカンの果皮又は渋皮から得られた、フラボノイドを主成分とするものをいう。) 288 ベネズエラチクル (ベネズエラチクルの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成とするものをいう。) 300 ホホバロウ (ホホバの果実から得られた、イコセン酸イコセニルを主成分とするものをいう。) 306 マッサランドバチョコレート (マッサランドバチョコレートの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びリイソプレンを主成分とするものをいう。) 307 マッサランドババラタ (マッサランドババラタの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレを主成分とするものをいう。) 350** レイシ抽出物 (マンネンタケの菌糸体若しくはその培養液から抽出して得られたもの又は子実体の培養液から出して得られたものをいう。) 351 レッチュデバカ (レッチュデバカの分泌液から得られた、アミリンエステルを主成分とするものをいう。) 354 ログウッド色素 (ログウッドの心材から得られた、ヘマトキシリンを主成分とするものをいう。) 355 ロシディンハ (ロシディンハの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とする	235	ばい煎ダイズ抽出物 (ダイズの種子から得られた、マルトールを主成分とするものをいう。)
276 ペカンナッツ色素 (ピーカンの果皮又は渋皮から得られた、フラボノイドを主成分とするものをいう。) 288 ベネズエラチクル (ベネズエラチクルの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成とするものをいう。) 300 ホホバロウ (ホホバの果実から得られた、イコセン酸イコセニルを主成分とするものをいう。) 306 マッサランドバチョコレート (マッサランドバチョコレートの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びリイソプレンを主成分とするものをいう。) 307 マッサランドババラタ (マッサランドババラタの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレを主成分とするものをいう。) 350* レイシ抽出物 (マンネンタケの菌糸体若しくはその培養液から抽出して得られたもの又は子実体の培養液から出して得られたものをいう。) 351 レッチュデバカ (レッチュデバカの分泌液から得られた、アミリンエステルを主成分とするものをいう。) 354 ログウッド色素 (ログウッドの心材から得られた、ヘマトキシリンを主成分とするものをいう。)	251	ひる石
288	270	プロポリス抽出物 (ミツバチの巣から得られた、フラボノイドを主成分とするものをいう。)
288 とするものをいう。) 300 ホホバロウ (ホホバの果実から得られた、イコセン酸イコセニルを主成分とするものをいう。) 306 マッサランドバチョコレート (マッサランドバチョコレートの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びリイソプレンを主成分とするものをいう。) 307 マッサランドババラタ (マッサランドババラタの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレを主成分とするものをいう。) 350* レイシ抽出物 (マンネンタケの菌糸体若しくはその培養液から抽出して得られたもの又は子実体の培養液から出して得られたものをいう。) 351 レッチュデバカ (レッチュデバカの分泌液から得られた、アミリンエステルを主成分とするものをいう。) 354 ログウッド色素 (ログウッドの心材から得られた、ヘマトキシリンを主成分とするものをいう。) ロシディンハ (ロシディンハの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とする	276	ペカンナッツ色素(ピーカンの果皮又は渋皮から得られた、フラボノイドを主成分とするものをいう。)
306 マッサランドバチョコレート(マッサランドバチョコレートの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びリイソプレンを主成分とするものをいう。) 307 マッサランドババラタ(マッサランドババラタの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレを主成分とするものをいう。) 350** レイシ抽出物(マンネンタケの菌糸体若しくはその培養液から抽出して得られたもの又は子実体の培養液から出して得られたものをいう。) 351 レッチュデバカ(レッチュデバカの分泌液から得られた、アミリンエステルを主成分とするものをいう。) 354 ログウッド色素(ログウッドの心材から得られた、ヘマトキシリンを主成分とするものをいう。) ロシディンハ(ロシディンハの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とする	288	ベネズエラチクル (ベネズエラチクルの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。)
306 リイソプレンを主成分とするものをいう。) 307 マッサランドババラタ (マッサランドババラタの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレを主成分とするものをいう。) 350** レイシ抽出物 (マンネンタケの菌糸体若しくはその培養液から抽出して得られたもの又は子実体の培養液から出して得られたものをいう。) 351 レッチュデバカ (レッチュデバカの分泌液から得られた、アミリンエステルを主成分とするものをいう。) 354 ログウッド色素 (ログウッドの心材から得られた、ヘマトキシリンを主成分とするものをいう。) ロシディンハ (ロシディンハの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とする	300	ホホバロウ (ホホバの果実から得られた、イコセン酸イコセニルを主成分とするものをいう。)
 を主成分とするものをいう。) 350※ レイシ抽出物 (マンネンタケの菌糸体若しくはその培養液から抽出して得られたもの又は子実体の培養液から出して得られたものをいう。) 351 レッチュデバカ (レッチュデバカの分泌液から得られた、アミリンエステルを主成分とするものをいう。) 354 ログウッド色素 (ログウッドの心材から得られた、ヘマトキシリンを主成分とするものをいう。) ロシディンハ (ロシディンハの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とする 	306	マッサランドバチョコレート (マッサランドバチョコレートの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びボリイソプレンを主成分とするものをいう。)
350 出して得られたものをいう。) 351 レッチュデバカ (レッチュデバカの分泌液から得られた、アミリンエステルを主成分とするものをいう。) 354 ログウッド色素 (ログウッドの心材から得られた、ヘマトキシリンを主成分とするものをいう。) ロシディンハ (ロシディンハの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とする	307	マッサランドババラタ (マッサランドババラタの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。)
354 ログウッド色素 (ログウッドの心材から得られた、ヘマトキシリンを主成分とするものをいう。) ロシディンハ (ロシディンハの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とする	350**	レイシ抽出物(マンネンタケの菌糸体若しくはその培養液から抽出して得られたもの又は子実体の培養液から抽出して得られたものをいう。)
ロシディンハ (ロシディンハの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とする	351	レッチュデバカ(レッチュデバカの分泌液から得られた、アミリンエステルを主成分とするものをいう。)
355	354	ログウッド色素 (ログウッドの心材から得られた、ヘマトキシリンを主成分とするものをいう。)
	355	ロシディンハ (ロシディンハの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とする*のをいう。)